

（千曲市立更級小学校）「放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	千曲市教育委員会 生涯学習課 生涯学習係	
主な活動場所	小学校の体育館・校庭	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後2時30分～5時(冬 季間は短縮)
	土日	実施なし
	長期休業	実施なし
帰宅方法	約半数が保護者の迎え、他は 一般児童と同じ	
負担金	1,000円/年	
登録者数	54人(一日平均49人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	—
協働活動サポーター	15	特別支援サポーター	—
ボランティア	—		

【特徴・連携等】

他事業と の連携	児童クラブ	—	学習活動の 特徴	自主学習	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動 等の特徴	自由活動型	○	その他 の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 実施は、毎週水曜日の放課後 午後2時30分～午後5時
- ※夏季休暇ほか、学校が休みの場合は実施なし
- ※終了時間は、10、2、3月は4時30分、11～1月は4時(学校の帰宅時間のきまりの30分前に終了)
- ※帰宅方法は、登録時に保護者が決める
- 負担金のうち800円は傷害保険料(年額)
- 活動は、学校の体育館及び校庭等で「自由あそび」、年数回特別教室を実施
- ※H30年度の特別教室は、6月:お話会(低学年)、7月:料理教室(低学年と高学年の希望者)、10月:マレットゴルフ体験(低学年)、11月:チャレンジトライ大会(希望者)、フラワーアレンジメント(希望者)、12月:料理教室(低学年)、2月:節分豆まき

気づいたことや成果

- 放課後に「決められたこと」をする特別教室を好まない又は嫌がる児童も多いため、今年度から、多くの特別教室で希望者のみの参加としたところ好評だった。
- 子どもたちは独自のルールでゲームや新たな「あそび」を創り遊んでいることも多く感心する。学校でも家庭でもない「放課後」で、それぞれが有意義な時間を過ごせる安全・安心な居場所づくりを継続したい。

課題や反省点

- ・H30年度より、低学年の下校時間が早まり(2:30下校)、高学年は遅くなった(3:30下校)。時間の関係で特別教室は高学年の参加が困難となり、冬期は活動時間がほとんど無くなった。
- ・夏季は、なんとか乗り切ったが、猛暑日が続く、避難場所(エアコン)も無く、児童の熱中症対策に苦慮し、サポーターからも悲鳴があがった。
- ・サポーターが不足している。公募や声掛け等しても、なり手がおらず今後の実施が危ぶまれる。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友達とたくさん遊べて楽しい
- ◇宿題のわからない部分を友だちと相談したり、サポーターに教えてもらうことができる
- ◇遊べる時間が短い(高学年)

〈保護者の声〉

- ◇学校や家庭ではできない経験ができる
- ◇放課後、大勢の友達と遊べて楽しそう

(小布施町立栗ガ丘小学校)「小布施子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	小布施町教育委員会 子ども支援係	
主な活動場所	栗ガ丘小学校余裕教室	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1年～6年生	
実施日等	平日	毎日 放課後～18時(冬期は17時)
	土日	イベントによる
	長期休業	夏休み15日間、春休み15日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	一般コース:月額1,000円(保険料等) 活動コース:月額1,500円(保険料、教材費等)	
登録者数	192人(一日平均80人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)		協働活動支援員	4
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア	15		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

子どもたちが放課後、見守りの中で活動できる遊び場を提供します。また、子どもの自主的な行動を育て、地域の方々との連携支援により活動を支援します。

○一般コースは、子ども教室の部屋、校庭、体育館、図書館の施設で自由に過ごします。

○活動コースは、一般コースの活動に加えて、週2回程度、野菜作り、スポーツ、調理実習、教養、遠足、伝統芸能(能)等の活動を行います。

様々な体験活動を通して、仲間作り・根っこ作りをしていくため、年間を通して参加できることが登録の条件となります。活動コースの田植え、稲刈り、キャンプ等大きなイベントについては、特に、保護者や地域の人の協力のもと活動を行っています。

気づいたことや成果

○活動コース卒業生の中学生、高校生、大学生のボランティア参加は、子どもたちが上の先輩との交流体験ができ、子どもたちに良い刺激となったり、様々な年代の地域住民との交流や連携が生まれています。

課題や反省点

- ・コーディネーターの人員不足
- ・配慮を要する児童の受け入れと対応について

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇都市農村交流を行っている墨田区の方々と一緒に田植えを行いました。今まで地域の人たちに教えてもらったことを、今度は自分が教えることができよかったです。

◇キャンプでドラム缶風呂に入りました。とても気持ちよかったです！最高！

〈保護者の声〉

◇毎年、キャンプ等の参加を子どもたちが楽しみにしています。

◇活動を通してみんなの事を考えられたり、支えてくれる人のことを考えられるようになりました。

◇課題が出たときに、子どもたちに「どうしたらよいか？」と聞いて、みんなで話し合っ決めていくことが大切だと思えます。

信濃町立信濃小中学校

事業実施状況



担当課・係	信濃町教育委員会	
主な活動場所	信濃町地域交流施設	
	エアコンの設置(有)・無	
対象児童	小学校4年生から6年生	
実施日等	平日	1ヶ月に2教室(1教室各4回) *実施曜日は固定しない。
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	500/月	
登録者数	30人(一日平均20人参加)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	20	特別支援サポーター	—
ボランティア	—		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	—
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	—	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

活動内容

※5月から2月まで(8月を除く)1ヶ月に2教室実施。(各教室4回)→年間18教室 72回開催

※毎月参加募集をし、申し込みをして参加するという形態をとっている。

※教室毎に、各活動内容に精通した地域の方々に指導をしていただき、協働活動支援員・コーディネーターが補助に入って運営している。

(1)活動曜日及び時間

・時間・・・学校登校日 午後5時～6時まで

・曜日・・・子どもたちの習い事等の関係もあるので、曜日は固定せず、月毎に変更している。

(2)活動内容

- ①自然教室:活動場所周辺の生き物調べ・裏山の草木の観察や化石のレプリカ作成など。
- ②もの作り教室:木や葉、松ぼっくり、枝等を使った工作(ネームプレート・オモチャ)・リース作り
- ③茶道教室:季節のお菓子やお抹茶をいただきながら落ち着いた心でお茶を楽しみます。
- ④スポーツ教室:囲碁ボール・ドッジビー・フラバールバレー・バドミントン等
- ⑤ヨガ教室:アロマ→ヨガ→太陽のポーズ・猫のポーズ・太陽礼拝のポーズ 等
- ⑥エコクラフト教室:エコクラフトの紙テープを使ったカゴを作ります。
- ⑦折り紙教室:折り紙を使っていろいろな折り方を学べる教室です。
- ⑧郷土料理教室:裏山へ笹の葉を取りに行き、笹餅・笹ちまきを作ります。
- ⑨えぼっこ教室:本など出版されている講師の先生です。様々な描き方を教えてもらう。
- ⑩紙芝居教室:紙芝居作り・親御さんを招待しての発表会

気づいたことや成果

- 教室を楽しみにしている子どもたちが多く、口コミ等により、参加者が増えてきている。
- 教室での指導等を通して、地域の方と子どもたちの結びつきが深まってきている。

課題や反省点

- ・毎回開催する講師の人材確保が困難
- ・参加申し込みがなく、教室当日参加する子供があり教材等の準備に支障があった。
- ・1時間という時間制限があり、子供たちの要望を叶えられない教室があった。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇いろいろな体験ができて、とても楽しいので、これからももっと続けたい。
- ◇毎月、どんな教室になるのか、すごく楽しみにしている。
- ◇いつもと違う友だちと帰ってきたり、一緒に活動ができるので、うれしいです。
- ◇部活動の曜日ははずしてほしい。

〈保護者の声〉

- ◇放課後子ども教室がある日は、はりきって学校に出かけていき、毎回楽しそうに帰ってきます。毎回の子ども教室の日を心待ちにしています。
- ◇この教室に参加させてもらうことで、ゲームやテレビに頼らない過ごし方ができて、とても助かっています。
- ◇同世代の子どもと勉強以外で過ごせる時間があるということは良いことだと思います。
- ◇下校から、直接活動場所に向かって行き活動するということで、安心です。
- ◇毎月お世話になる毎に、地域の教えてくださる方々との交流や地元の文化にふれることができ、素晴らしいと思っています。これからもずっと長く続けていただきたいと思います。

(中野市立日野小学校)「ぽっぷ教室日野」

事業実施状況

担当課・係	子育て課青少年未来係	
主な活動場所	日野小学校	
	エアコンの設置(有 無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週木曜日 放課後午後3:20～4:35
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	可能な限り保護者の迎え	
負担金	保険料年額800円(スポーツ保険)	
登録者数	16人(1日平均14人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	-
ボランティア	-		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	○

活動内容

1 ぽっぷ教室の活動の流れ

- (1)準備と打ち合わせ(10分) (2)はじめの会(10分) (3)集団活動(20～40分) 自由遊び(20～40分)
(4)おわりの会(10分) (5)後片付け・次回の打ち合わせ(10分)

2 活動の内容

(1)軽いスポーツやレクリエーション活動

- ・外部講師による活動(ヒップホップダンス教室:年1回、「信濃グランセローズ」選手との交流:年1回、ニュースポーツ:年1回、工作教室:年1回)
- ・陣取りや鬼ごっこなどの集団遊び 昔の遊びや学び合い活動

(2)自主的で自由な遊び

- ・ハンドベース、ドッチボール、パラシュート、縄跳びなど、自由に個人や小集団で活動

(3)地域の方との触れ合い、一緒にする体験活動 工作教室 年1回

気づいたことや成果

- 平均出席率は、90%近くあり、子ども達は毎回いろいろな遊びを通して、体を動かし、仲間と関わり、満足していた。
- 学校生活に慣れない1年生も、次第に慣れ、トラブルなく遊べるようになってくる。異学年の交流もあり、上の学年がリードすることも多くなった。

課題や反省点

- ・子ども達の安全で自主的な活動を保障していくには、スタッフの充実と連携が大切であるが、スタッフを十分に確保し続けることが難しい。
- ・子どもの人数が多い教室では、二部制を導入しているが、低学年の児童の加入が多く、活動の内容の工夫が必要である。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇思い切り遊べるので楽しい。あまりやったことのない遊びもできて楽しい。
- ◇もっとたくさんの日に「ぽっぷ教室」があるといいな。

〈保護者の声〉

- ◇いつも楽しそうに遊んで、汗をかいて帰ってくる。スタッフにとっても感謝している。

(木島平村立木島平小学校)
「木島平村放課後子ども教室」

事業実施状況



担当課・係	木島平村教育委員会 子育て支援課子育て支援係	
主な活動場所	木島平小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校3～6年生	
実施日等	平日	毎週火・水・木・金曜日 放課後～午後6時
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	保護者が小学校まで迎え	
負担金	1日300円 (最大月額5000円 限度額)	
登録者数	61人(一日平均18人参加)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	2
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	-
	学校支援	-		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	-	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	○		他団体、組織	-

活動内容

【算数教室(5, 6年)】週2回(水・木曜日)実施 ◆受講児童19人(5年8人、6年11人)

《学習内容》受講児童一人一人の学習理解の実態や希望に応じて、予習と復習の両面から、個別指導を中心にして学習アドバイザーがプリント問題を用意して取り組ませている。

【英語教室(3, 4年)】週1回(金曜日)実施 ◆受講児童31人(3年13人、4年18人)

【英語教室(5, 6年)】週1回(火曜日)実施 ◆受講児童22人(5年13人、6年9人)

《学習内容》英語に慣れ親しませ、英語活動を楽しむという点を大切にして、簡単な英会話や日常生活で必要な物等の単語の習得、英語の歌、ゲーム等に取り組ませている。

気づいたことや成果

○活動を楽しみにしたり、はりあいしたりして、学校の下校と同時に来室してくる児童がいる。このような児童は、教室が始まるまでの時間を、家庭学習や自主学習に取り組んでいて、アドバイザーが相談にのったり、支援したりしている。また、学習面以外にも、生活面や友人関係等から、不安や悩みを相談してくる児童がいるため、丁寧に対応するようにしている。

課題や反省点

○入室している児童が多いため、児童一人一人の実態に応じて、丁寧に十分に対応する時間や場が確保できにくい実態がある。コーディネーターとアドバイザーが連携をしっかりとって、対応しようとしている。
○児童の送迎に対して、保護者の皆さんの協力のもと、問題なく安全に実施できていてありがたい。これから、特に冬期間は、安全に十分に留意して行っていけるようにしたい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇算数で、学校の授業ではよくわからなかったことが、わかるようになってうれしかった。いろいろな問題に取り組めて楽しい。

◇学校から出された宿題ができてうれしい。わからないことは、先生に教えてもらえるのでいいです。

〈保護者の声〉

◇子どもが、喜んで通い続けているので、うれしい。このまま、がんばり通してほしい。

(野沢温泉村立野沢温泉小学校)
「のざわおんせん遊友くらぶ」

事業実施状況

担当課・係	野沢温泉村教育委員会 こども支援係	
主な活動場所	野沢温泉小学校遊友くらぶ室 野沢温泉小学校体育館など	
	エアコンの設置(有)・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後～5時(冬期4時30分)
	土日	毎週土曜日開催なし
	長期休業	夏休み約20日間 春休み約10日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	800円(保険料)	
登録者数	91人(一日平均25人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- 毎週月曜日から金曜日まで、野沢温泉小学校内の遊友くらぶ室や体育館、グラウンドで活動。
遊友くらぶ室内で自主学習のほか、読書や折り紙、カードゲームで仲間と遊んだり、体育館等でドッジボールや卓球など体を使う活動を行っています。
- プログラムにある、ふるさと学習では、村の伝統工芸のつる細工や、道祖神のご神体作成も地域の方に教わりながら取り組んでいます。
- 夏休みなどは、村内散策で「足湯」を体験したり、村の公民館やおぼろ月夜の館を訪問し村を知る活動もしています。

気づいたことや成果

- 自分たちで宿題に取り組んだり、遊びを通して異学年などの仲間づくりができた。
- ふるさと学習では、普段体験することのできない、つる細工やご神体づくりを体験し地域を知る機会となっている。

課題や反省点

- ・子ども教室の雰囲気になじめず、いつの間にか来なくなる児童がいる。静かに活動したい児童に対し配慮が必要だと感じる。
- ・スタッフの確保に苦労している。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友達と遊べて楽しい。
- ◇イベント(夏休みや、ドッジボール大会、つる細工、ご神体作成、クリスマス会)を楽しみにしている。

〈保護者の声〉

- ◇宿題を済ませてくれるので助かる。
- ◇子どもの少ない地域なので、友達と遊べる場となってありがたいです。